

令和3年2月19日（金）

第2回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和3年2月19日(金) 午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 倉部 俊治 委員 長谷川浩子
委員 足立 俊弘 委員 蒲田 知子
委員 村松 弘康
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 丸 智彦 生涯学習部長兼鳥の博物館長 木下登志子
生涯学習部次長兼公民館長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長 菊地 統
総務課長 森田 康宏 学校教育課長 鈴木与志実
生涯学習部参事兼文化・スポーツ課長 小林由紀夫
指導課長兼小中一貫推進室長兼少年センター長 戸塚美由紀
文化・スポーツ課主幹兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
図書館長 宇賀神 修 教育研究所長 遠藤美香
6. 欠席事務局職員 な し

午後2時00分開会

○倉部教育長 ただいまから令和3年第2回定例教育委員会を開会いたします。

会議録署名委員指名

○倉部教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。長谷川委員にお願いします。

議案第1号

○倉部教育長 日程第2、議案の審査を行います。

議案第1号、令和3年度我孫子市教育施策の策定について、事務局の説明をお願いします。

○森田総務課長 それでは議案第1号、令和3年度我孫子市教育施策の策定について説明します。提案理由は、令和3年度我孫子市教育委員会教育行政の施策を定めるため提案するものです。

続きまして、2ページ、令和3年度の基本方針を「個性を尊重し、互いに学び合う、学校教育並びに生涯学習の推進」とし、教育行政を推進していくこととしています。

2ページから6ページまでが、令和3年度の施策となります。7ページの改定整理表について、今回改定する施策のうち、主なものを説明します。

まず7ページ、整理表の③ですが、GIGAスクール構想の導入に伴い、これまでの学習環境とは異なることを明示するため、「個別最適な学びと協働的な学びの充実」という言葉を文言として追加し、施策を改定するものです。

次に8ページ、整理表の⑤と⑧は、令和4年度からの学校運営協議会制度の導入に向けて、令和3年度は、導入準備として制度の整備や周知を行っていくため、それぞれ施策を改定するものです。

また、それに加えて、整理表の⑥、「学校運営協議会制度」は、教育施策の中で初めて表記される言葉となりますので、文末の注釈で説明を加えています。次に、同ページ、整理表の⑦ですが、学校における不祥事根絶に向けた強い意志を明示するため、「不祥事防止対策」という言葉を追加し、施策を改定するものです。

次に10ページ、整理表の⑬について、令和2年12月に策定した文化財保存活用地域計画を令和3年度以降も推進していくことに伴い、文言を修正するものです。

このほかにも改定を行った施策がありますが、文言の整理や教育振興基本計画に合わせた施策の整理となりますので、これらの改定内容については、整理表の改定事由により確認いただければと思います。

以上で説明を終わります。

○倉部教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 8ページ、整理表⑤の「中学校区ごとに目指す15歳の生徒像を基にして作成したグランドデザインを掲げ」という文章が以前からあります。私も以前、中学校のPTAや学校評議員をしていましたが、この「15歳の生徒像のグランドデザイン」という言葉自体が初めてお聞きしました。これはどこかに表記されているものなのですか。例えば生徒手帳に記載されているとか、どこかで見ることができるグランドデザインがあるのでしょうか。

○戸塚指導課長 グランドデザインは、各学校の経営方針が一目で分かるように、子どもたちの目指す姿やそれに対してどういう手だてをとっていくかというものを図式化したものであり、学校ごとに作成しています。さらに、我孫子市小中一貫教育として、9年間を通した子どもたちの目指す姿がわかるよう、中学校区ごとの「小中一貫グランドデザイン」を作成しています。また、グラ

ンドデザインは、生徒手帳等には書かれていませんが、市のホームページや各学校のホームページに掲載し、確認できるようになっています。

○倉部教育長 よろしいでしょうか。

○村松委員 はい。

○倉部教育長 ちょうど学習指導要領の変更もありますので、グランドデザインについても、もう一度見直し作業を行っている最中だと思います。改めて変更した段階でご覧いただきたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。ご意見、ご質問等がありますでしょうか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○倉部教育長 これより採決いたします。

議案第1号、令和3年度我孫子市教育施策の策定について、原案に賛成の委員は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○倉部教育長 挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

議案第2号

○倉部教育長 続きまして議案第2号、我孫子市指定文化財の指定について、事務局の説明をお願いします。

○小林文化・スポーツ課長 議案第2号、我孫子市指定文化財の指定について説明します。11ページ、提案理由は、市内に所在する重要な文化財として、教育委員会所蔵の井上家資料を我孫子市指定文化財に指定するため提案するものです。

なお、本件の指定につきましては、令和3年2月16日に開催された我孫子市文化財審議会に諮問し、令和3年2月16日付で答申されています。

12ページ、提案内容について説明します。種別として有形文化財（歴史資料）と有形民俗文化財を一括で指定することにしました。名称は井上家資料です。

13ページから調査報告書について、それぞれの概要を説明します。14ページ、井上家資料の内訳は、古文書・写真などの紙資料が1万6,942点、民族資料が950点、合わせて1万7,892点です。

歴史資料の概要については、14ページに記述がありますが、近世文書及び近現代文書であり、当時の状況をうかがい知れる貴重な資料となっています。

民俗資料の概要については、15ページの記述どおり、民俗資料の大半は生活用品であり、近現代のものが多いと推測されますが、袴など江戸時代の井上家の身分を象徴するような資料も残されています。

また、歴史資料と民族資料の一部を参考資料としてお配りしておりますのでご覧いただければと思います。井上家の母屋などの建造物については、平成24年12月28日に指定第14号として文化財指定しています。

この井上家資料に関しては、歴史資料・民俗資料を合わせて我孫子市の歴史を知る上で貴重な資料となっていますので、市の指定文化財として指定する価値があるものとしています。説明は以上です。

○倉部教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いいたします。

今までは建物に重点を置いた保存活動が中心でしたが、ようやく収蔵資料についての価値を見出し、指定文化財に指定することができました。建物については、今後改修が必要な部分が相当残っていますので、順次対応していくことになると思います。

担当者に話を聞きますと、本来民俗資料と歴史資料は別々の分野なので、別々に指定することが適当かもしれないが、今回の諮問では、井上家全体としてのくくりの中で、2つの資料を併せた形で了解を得られたようです。

この件について何かご質問、ご意見等がありますでしょうか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○倉部教育長 これより採決いたします。

議案第2号、我孫子市指定文化財の指定について、原案に賛成の委員は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○倉部教育長 挙手全員と認めます。よって議案第2号は可決されました。

諸 報 告

○倉部教育長 日程第3、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明や追加する事項を求めたいと思います。

戸塚指導課長、卒業式についてご報告をお願いします。

○戸塚指導課長 市内小中学校の卒業式について報告します。

今年度の卒業式は、中学校が3月16日(火曜日)、小学校が3月19日(金曜日)に予定しています。例年であれば、来賓として、市議会議員の皆様が卒業式にご参列いただいて、児童生徒の門出をお祝いしていましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況から、議員の皆様についてのご案内は見合わせることにしましたので、ご報告します。

○倉部教育長 ありがとうございます。ただいまの報告のとおり、国の緊急事態宣言が1か月延びたこともあり、十分に慎重な形で卒業式を実施することとします。一番大切なのは、子どもたちのために卒業式を実施してあげることだと思います。その中で、やむを得ない判断ですが、来賓の縮小という形をとらせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

実は、今日の午前中も長寿大学の卒業式があり、来賓は一切求めずに粛々と行ったのですが、卒業生と修了証書を受け取る長寿大学の生徒の皆さんも元気に出席していただいて、無事に卒業式を実施することができましたので、同様の対応で実施したいと思います。よろしくをお願いします。

それでは、これより事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 1ページの2番目、産業医職場巡視の中止について、コロナウイルス感染症の影響で中止になったと思いますが、産業医の職場巡視は、職員の皆さんの職場環境の改善等、とても大事なことだと思いますが、これに代替するようなことを実施するのでしょうか。

○森田総務課長 今後の産業医の職場巡視ですが、緊急事態宣言の解除後、感染状況を鑑みたくて、産業医の先生に依頼し、なるべく早い時期に実施したいと考えています。

○蒲田委員 働く人たちにとって心身の健康は大事なことです。早い時期に職場巡視ができることを期待しています。よろしくお願いいたします。

○倉部教育長 事務報告についてはほかにいかがでしょうか。

コロナ禍ですので、事務報告については、中止や書面開催など、例年とは異なる1年間になっていると思います。それぞれ担当者が対応をしていると思いますが、少し寂しいという感じは否めません。

事務報告についてはよろしいですか。ないものと認めます。

事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 2ページ「我孫子市中学校就職生徒壮行会」の事業について、毎年何人ぐらいの就職生徒の方が参加している状況でしょうか。

○戸塚指導課長 毎年、就職する生徒は市内で数名おり、全員に声をかけていますが、全員が出席するわけではなく、都合が悪くて来られない生徒もいます。年によっては、就職する生徒がいても、壮行会には参加できず、学校で実施することもあります。就職する生徒が全くいない年もありますが、例年、大体1人か2人くらいだと思います。

○倉部教育長 よろしいでしょうか。

○村松委員 はい。

○倉部教育長 毎年予定はしていますが、ただいまの報告のとおり、壮行会を実施しない年もあります。該当者がいる場合で、どうしても教育委員会に来られないということであれば、学校で記念品をお渡しする形をとっています。

ほかにいかがでしょうか。

○長谷川委員 5ページ、教育研究所3番目の「特別支援教育コーディネーター連絡協議会」の内容に「MIMの活用について」と書かれているのですが、今MIMは小学校で使えるような状態になっているのでしょうか。

○遠藤教育研究所長 多層指導モデルMIMは、文字の読みに関する子どもの能力の成長度合いを早期に把握し、読みのつまずきが顕在化する前から個々能力に応じた指導することで、特別な支援を必要としている子どもはもちろん、様々な学力層における効果的な読みの習得を支援するためのものです。今年補助金がついたので、MIMソフトを全学校で使用できるよう契約をして進めているところです。

○倉部教育長 よろしいですか。

○長谷川委員 はい。ありがとうございます。

○倉部教育長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金によって、なかなか進まなかった支援を要する子どもたちへの予算がつきました。教育委員会としてもこれは進めていきたいという強い思いがあったものですから、ようやく予算の要求が通って前に進みました。あとは、所長以下、教育研究所と現場の先生方の頑張りに期待したいと思いますので、よろしくをお願いします。

ほかに事務進行予定についていかがでしょうか。——よろしいですか。

では、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑あるいはご意見等があればお願いいたします。

○蒲田委員 この1年間コロナ対応を教育委員会全体で行ってきたと思います。特に、学校現場では働き方改革を推進していくなかで、コロナ対応による先生方の負担はどうだったのか教えてください。

○鈴木学校教育課長 休校から再開した当時は、消毒する場所も広く、職員の負担になっていたと思います。今まで誰も経験したことのないことでしたので、大きな負担がかかっていたと思いますが、文部科学省や千葉県のガイドラインが更新され、だんだんコロナウイルスの特性が分かってきたことにより、毎日の清掃が大事であることや日々よく使うところ、触るところだけを消毒すること、トイレも殺菌効果のある洗剤で清掃すればよいこと等、対策も見えてきたので、消毒や清掃については、今までより負担が軽減できる状況になりました。

しかし、授業については、いろいろな制約がありますので、そこは工夫しながら、感染予防対策に気を遣っている状況です。また、部活動や行事については、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できないこともあり、働き方改革においては、時間外の勤務時間が減少傾向にある状況です。

○蒲田委員 ありがとうございます。子どもたちに対する感染症対策や教職員の働き方改革など、どちらもとても大事なことです。それぞれに大変なご苦労があったと思います。まだまだこの対応は続くと思いますが、よろしくお願ひします。

○倉部教育長 学校の対応について、もう一度、現状を見直す機会だと思ひますし、工夫すべきところも分かってきたと思ひます。先ほど、消毒の話が出ましたが、保護者の皆様と地域の方々が、今まで以上に学校に協力してくださっているという報告を沢山受けています。保護者や地域の方が、学校の現状を理解し、学校運営に対して協力してくれる体制がとれていることに、心から感謝したいと思ひます。

ほかにコロナ対応以外に、あるいはコロナ対応について何かご質問、ご意見等がありますでしょうか。ないものと認めます。

以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。
